

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		合同会社OceanHeart キッズサポートOcean		放デイ		公表日		令和8年5月29日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		9	1	訓練できるスペース、クールダウンできるスペースも区切られている。運動遊び等動きのある活動では環境整備し対応している。	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		9	1	利用児に対して余裕のある配置をしています。急な対応にも柔軟に対応できる体制を整えています。		今後も児童の要望がある際や、必要ケース時には居場所作りを実施していきます		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		8	2	事業所内段差なくバリアフリーになっている。		児童の特性に合わせて、安全管理を視野に都度検討していきます。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		8	2	毎日掃除や空気入れ替えなどを行っています。心地よく過ごせる環境にしています。		心地よく過ごせるよう環境づくりや活動の空間作りを適切に行っています。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		9	1	子どもが個別の部屋や場所を使用する場の環境を設置している。		今後も児童の要望がある際や、必要ケース時には居場所作りを実施していきます。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		6	5	毎朝ミーティングを行い情報共有している。		申し送りノートを使いミーティングに参加出来ない職員にも周知情報共有している。また、月に一度モニタリング実施し、児童の支援の振り返りを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6	4	保護者の意見等を把握する為、話し合いを行い、その内容に応じて支援に対するの確認を行っています。		保護者の評価を確認し業務改善に向け話し合いを行い確認し支援を行っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		5	5	職員の意見がある場合、その都度時間を作り話し合いを設けてます。		ミーティング等で業務改善の話が出たらその都度話合うようにしてます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			10	第三者を交えた外部評価を実施したことがない。		第三者による外部評価はまだ行ってないので今後は取り組んで行きたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		8	2	要望があれば研修に参加している。又、地域の研修の機会があれば参加する様に心がけている。		研修があれば共有していきます。時間が合わないなどで参加する機会は少ないが、今後参加できるようにしたい。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		10	0	プログラム内容について職員間で共有を行いながら作成し、適切に公開できるよう取り組んでいます。		職員間で話し合いながらプログラムを考案していますが、より良い支援につながるよう、その都度検討を重ねながらプログラムの改善に努めています。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		9	1	個別支援計画書を作成する際に、関係職員にてアセス、モニタ、サービス等計画書をもとに作成を行っています。		児発管を軸に、関係職員にて支援を検討し計画書作成を行っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		10	0	児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員全体で共通理解を図りながら、ミーティングを通して子どもの課題や目標について話し合い、放課後等デイサービス計画書を作成しています。		児童発達支援管理責任者だけではなく子どもの支援に関わる職員も含め検討しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		9	1	ミーティングを行い、情報を共有していません。変更等があれば対応できるように共有しています。		児童発達支援管理責任者だけではなく子どもの支援に関わる職員も含め検討しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		9	1	アセスメントシートを使い聞き取りをしたり、日々の行動観察をし記録しながら確認しています。		アセスメントシートや日々の行動観察をもとに、職員間で情報共有を行いながら、子どもの特性や状況の理解に努めています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		7	3	放課後等デイサービスで提供すべき支援や本人支援、家族支援のねらいと内容を踏まえながら、保護者や子どものニーズに合わせて、分かりやすい支援内容の設定に努めています。		地域とのつながりや関係機関との連携も大切にしながら、子どもに合った支援を行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		10	0	子どもたちが安心して楽しく活動に参加できるよう、職員同士で意見を交換を行いながら、活動内容やプログラムを工夫しています。		子どもたちが楽しみながら取り組める活動を5領域に取入れ療育や支援へつなげていけるよう、より良い活動プログラムについて職員間で話し合いながら工夫して行くことが今後の課題です。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	児童が安心して活動に参加できるよう、場面の切り替えは分かりやすく固定化し、個別・集団それぞれに必要な活動を考慮しながら、適切なプログラムを実施出来るよう配慮しています。	今後も継続して話し合い見直しを行いながら、より良い支援につながるよう工夫して行きます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	個別支援計画書を作成し支援を行っています。	個別支援計画書に基づいた支援内容や集団での過ごし方について、職員間で適宜話し合いながら、支援計画書を作成しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	ミーティングを実施しながら、職員間での情報共有を密に行っています。	今後も児童一人ひとりの情報共有を丁寧に行いながら支援に密に取り組んでいきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0	業務終了後の時間や翌朝の申し送り時に、必要に応じてミーティングを実施しています。	緊急で話し合いが必要な場合は、速やかに情報共有の場を設け、迅速に対応できるように努めていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	個別支援計画に基づいた支援内容について、支援終了後に記録を行っています。	記録を行う際も、職員間での情報共有を大切にして行きながら取り組んでいきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	児童一人ひとりの成長や特性に応じたモニタリングを行っています。	少なくとも半年に一度は支援内容の見直しが行えるよう、モニタリングを実施しています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	2	自立に向けた取り組みや創作活動、良く時間についても、児童一人ひとりに応じた支援を適宜行っています。	地域での活動機会が少ない為、今後は実践できる機会や回数を増やしていきたいと考えています。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0	支援の中で本人の意思を大切にしながら、自分で選択や決定ができるよう支援をしています。	選択する場面を通して、自主性や社会性を育めるような支援が行えるように配慮して行きます。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	相談支援事業所に定期的な児童会議を開催していただき、地域・学校・ほぎょ者との情報共有を行っています。また、日頃の児童の様子についても継続的に確認しながら、理解を深め、関係機関との会議に参加しています。	利用児童に特性や関わり方、ご家族の状況についてより理解を深められるよう、一人ひとり丁寧に関わりながら支援を行って行きます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	0	10	学校や保育の現場、障害福祉との連携は図れている。	主治医や、保険所とは連携が薄いので、今後取り組みを強化していきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	0	学校の年間予定や行事、送迎については、連携を図りながら対応しています。	トラブルや問題発生時に学校との話し合いの機会が少なく、迅速な対応が出来ていないため、今後はトライアングルプロジェクトを推進し、連携強化に努めて行きます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	3	会議等で課題や支援について相互に話し合いを行い、また学校帰りの引き継ぎ時にも情報共有を行っています。	今後も継続して行います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	8	現在の所放デイから障害福祉サービスへ移行する児童がいないため、実践の機会はありません。	今後、卒業を見込む児童がいる場合には、関係機関と連携しながら地域移行に向けた支援を行いたいと考えています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	9	スーパーバイザー体制との連携はないものの、地域主催の研修には参加しています。	スーパーバイザーからの助言を得た際に相談先が明確ではなく、適切な助言を受けられない状況となり、対応に困る場面がある。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	10	放課後デイサービスや児童発達支援事業所との直接的な交流ありませんでした。	今後は地域の活動状況などの情報収集を行いながら、関係機関との交流を図って行きたいと考えています。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	3	7	ケースが発生した際は参加しているが、定期的には実施できていない。	機会があれば積極的に参加します。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	保護者や関係機関とケース会議を行い、事業所での様子や支援内容について共通理解が図れるよう話し合いを行っています。	保護者からの困り事や支援について相談があった際には、その都度話し合いを行いながら対応して行きます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	10	ペアトレの情報は地域の研修があれば、定期的に提供しています。	家族向けの研修等を通して、とても成長していける取り組みが必要だと考えており、今後検討していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	2	契約時に重要事項等の説明を行っており、見学や体験時にも支援プログラムや運営内容について説明を行っています。	説明時には分かりやすく伝えられるようには配慮していますが、今後もより伝わりやすい説明ができるよう努めて行きます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	児童や保護者の意向を大切に考え、支援計画書作成前にはアセスメントを実施し、意向を考えたらうで原案を作成し、説明・了承を得ながら進めています。	家族や利用児童にとって何が最善か考えながら、今後も支援計画等の作成を行います。

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0	計画書作成時には保護者へ内容の確認を行い、同意を得たうえで作成して行きます。	今後も継続して行います。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	保護者からの困り事や悩みについては、職員間で情報共有や話し合いを行ったうえで、面談等の機会を設けています。また、必要に応じて書面での助言や支援を行っています。	今後も、保護者への支援やサポートにも力を入れて取り組んでいきたいと考えています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	1	前年度は年に2回の開催となり、実践回数は少ない状況でした。今後も保護者が参加しやすく楽しめる保護者会を目標に実施して行きたいと考えています。	保護者会の開催だけではなく、地域に貢献できる取り組みや、研修・子育てについて学べる機会も取り入れていきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	苦情やご意見があった際には、早急に対応を行い、事業所内での改善策についても保護者へ周知出来るように取り組んでいます。	保護者からの要望や改善案についてはその都度検討を行いながら、迅速に対応できるように努めています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	3	連絡帳アプリを活用しながら、日々の情報発信を行っています。	ホームページやSNS（インスタグラム）等を活用しながら、情報発信が行えるよう取り組んでいます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	保護者より同意を得たうえで、個人情報の取り扱いには十分配慮し、厳重に管理しています。また、職員間でも情報漏洩防止に努め、誓約書を交わしながら徹底しています。	今後も、児童の個人情報の取り扱いには十分留意しながら、適切な管理に努めていきます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	絵カード、意思カードを活用し、児童との意思疎通が円滑に行えるよう配慮しています。また、保護者へも分かりやすく伝えるように心がけています。	今後も意思疎通の際の配慮を行っていきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	9	事業所内での行事には地域住民を招待する場面は少なかつた。	ハロウィン、ピーチクレーン以外の活動を今後検討しながら、地域での活動の幅を広げていきたいと考えていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	8	マニュアルは設備されていますが、周知や共有を行う機会が少ないと感じます。	定期的にマニュアルを周知できる取り組みを行っていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	4	BCP計画に基づき、避難訓練を実施している。	定期的に実施できるよう、職員間で周知や共有の機会を設けながら訓練を行って行きます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	1	服薬や、てんかん発作等を要する児童がいれば、事前に話し合いを実施しています。	現在は定期薬や発作がいませんが、今後に備えて話し合いだけではなく、勉強会等を通して学ぶ機会を設けていきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	2	該当児童がいれば、実施して行きます。	現在は該当する児童はいませんが、アレルギー症状のある児童と契約となった際には、医師の指示書をもとに、対応を検討して行きます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0	定期的に安全対策員を開催し、事業所内や戸外活動など、児童の安全が確保されているか確認を行っています。	災害時の安全確保に向けて訓練を実施するとともに、施設内外の安全確認や見直しについても定期的に行って行きます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	3	火災時の安全確保について、保護者会等を通して保護者へ周知する機会を設けています。	周知する機会が少ないため、今後は定期的に実施できるよう取り組んで行きます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	ヒヤリハットの事例が発生した際には記録を作成し、職員間で情報共有や改善策の検討を行っています。	再発防止の取り組みを行いながら、職員間での周知や連携強化に努めて行きます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	定期的に虐待防止委員会を開催し、職員へ周知や確認を行っています。	今後も継続して虐待防止に向けた取り組みを実施して行きます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	0	保護者へ身体拘束に関する説明を行い同意を得ますが、計画書への記載については十分ではない部分があると感じています。	計画書の見直しを行いながら、より理解しやすい内容となるよう改善に努めて行きます。	